

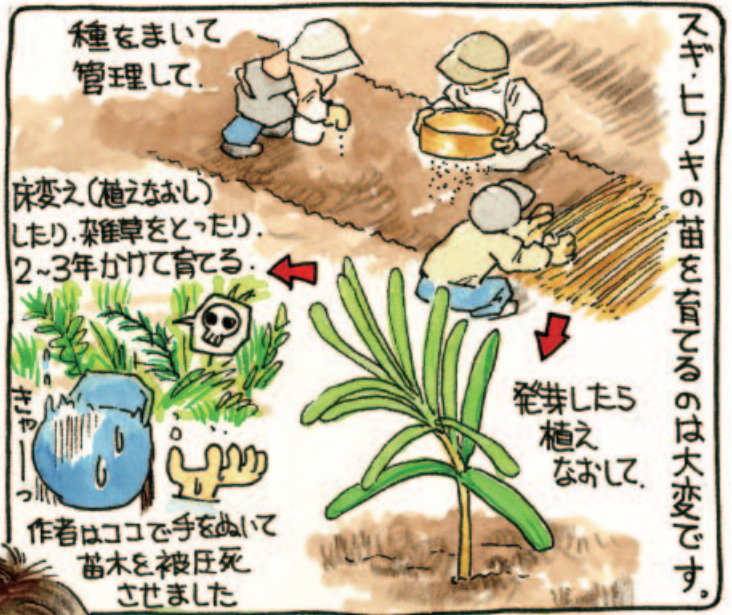


苗木の根が広がる  
サイズの穴を掘って

そして苗木を山に植えるのも大変です。

上部をひっぺがって  
ズボッとめけたらアウト!  
もう一度しかり  
植えなおしっ

植えたら  
土を戻して  
踏み固め...



種をまいて  
管理して。

床変え(植えなおし)  
したり、雑草をとったり、  
2-3年かけて育てる。

作者はココで手をぬいて  
苗木を被圧死  
させました

発芽したら  
植えなおして。

スギ・ヒノキの苗木を育てるのは大変です。



これは  
コンテナ苗を  
育てるための  
容器(トレイ)

じいちゃん  
おじいちゃん

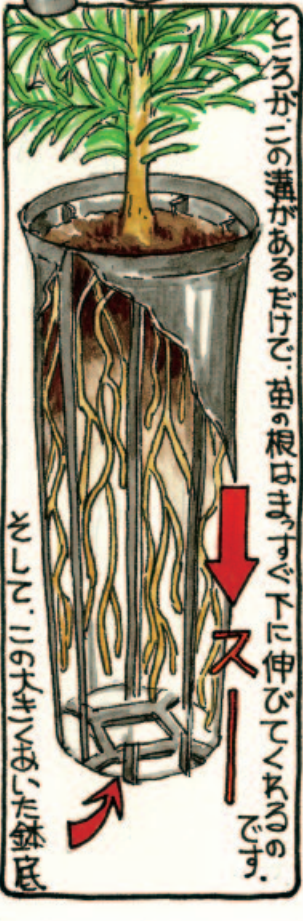
作: 平田美紀子

今話題のコンテナ苗の巻  
そんなアナタにおススメする。



下まで伸びた根は  
空気だけの空気に  
ふれたとたん、  
成長が止まって  
しまうのです。

このように育てたコンテナ苗  
は、根が変形することなく、  
容器から出しても  
根鉢の形が維持できます。



このようにこの溝があるだけで、苗の根はますます下に伸びていきます。

そして、この大きなおいた鉢底



ただのポットと  
変わらんやんかー  
...と思ってたアナタ、  
甘いっ!



この容器には、研究者や苗木業者の  
知恵が集結しているのです。

例えは、  
このわずかに「溝」の溝  
ただのポットでは、苗の根は  
好き勝手に伸びるので、  
絡んだり、鉢底で回る  
変形がおきやすい...



根系が一体化しているので、根鉢と土壌がくっつければ、山の植付は完了。

コンテナ苗

大きくなれよ

裸苗

うんせっ

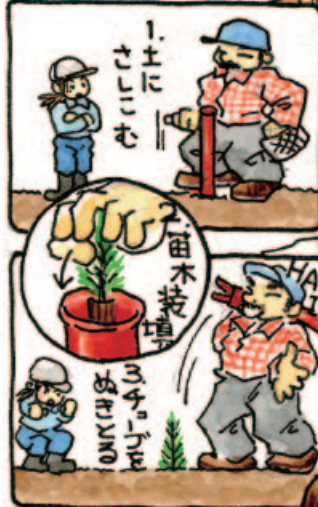
根が広がるサイズの穴をあけて、根鉢が密着するまで踏み

最も根の穴あけをして、少しおさえれば作業完了。

そして、植付作業を助けてくれる道具として...



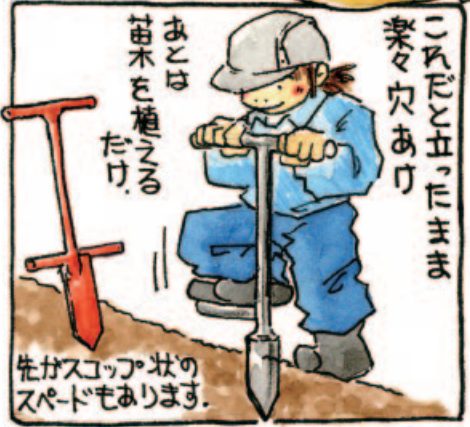
舶来のバズーカ  
フランティング  
・チューブ



しかしこのバズーカ、いかせんサイズが欧米標準日本人には使いごちがいまひとつ...



欧米は1日に3,000本は植えるというが日本人だと800本位が限界かも。



コンテナ苗の技術は、元々欧米で開発されたものです。それを日本の苗木用に改良する、試行錯誤が、今日も続けられています。



これからどんな技術が開発されるのか、ますます目が離せません。

